

根羽村商工会 会長 宮島 直光

根羽村は、長野県最南端に位置し、愛知県と岐阜県を県境に持つ地域です。

標高1000m級の山々に囲まれ、村の92%を山林が占めています。村内には4本の川が流れております。茶臼山を源流とする一級河川矢作川に、北から小川川、南から桧原川が村の中央部で合流し、延長118kmを経て三河湾へと流れ、愛知県三河地方の重要な水源となっています。この流れはそれぞれ美しい渓谷となっており、清らか溪流での魚釣り客や都会からの子供たちが川で遊べる体制を整えており、春先から夏にかけて多くの人を訪れます。また、柿の古木「黒地の柿」、国の天然記念物である樹齢1800年を超える「月瀬の大杉」、清流の「小戸名渓谷」など豊かな自然に囲まれ、朝日新聞による「日本の里百選」にも選ばれています。

古くは足助街道、吉田街道、三州街道の交通の要所として栄えてきました。戦国時代にはこれらの街道は軍事的要衝にありその後は「中馬街道」として経済発展と宿場町としてにぎわいを見せてきました。現在でも愛知県と岐阜県の交流が

深く様々な影響を受けています。道路は一般国道 153 号線を通じ名古屋市へ 90 分、豊田市へ 70 分近隣中核都市である飯田市へは約 50 分の距離にあります。

村の産業としては豊かな山林資源を活用し、特産開発として「根羽杉ブランド」を作り長野県産材住宅の普及に努めています。最近では木材の繊維を使ったタオル「木の布」の商品開発を進めております。

根羽村商工会は昭和 35 年月に設立されました。現在、阿智村商工会、平谷村商工会と広域連携を組み地域の商工業者の支援をすすめております。

人口減少や高齢化が進む中、地域の商工業発展のためさまざまな事業を展開してまいりました。

三遠南信自動車道の開通、リニア中央新幹線の開業など大きく人の流れが変わろうとしております。これをチャンスととらえ今後もより一層広域連携商工会及び根羽村、三遠南信地域関係機関との連携を強め地域商工業者の持続的発展と持続可能な村づくりを進めてまいります。